



専門部会での検討内容について

専門部会での検討について

【目標】

本市におけるオリンピック等の取組を市民との協働により実施していくため、実務レベルでの情報共有を図り、オリンピック等にあわせて市全体で行う具体的な取組を、事業化を前提として検討する。

【検討テーマ】

府中市全体でのおもてなし体制の構築（推進会議を構成する複数団体のコラボレーションによって実施する取組）

【会議開催の過程】

日 程	会 議	議 題
9月20日	第1回専門部会	・ 専門部会への依頼事項について ほか
10月19日	第2回専門部会	・ 視点1について ほか
11月7日	第3回専門部会	・ 視点1・2の見直し案について ほか
11月29日	第4回専門部会	・ 視点3について ほか

専門部会での検討内容について

【部会委員】 推進会議構成団体のうち、次の19団体・19名に委員を依頼。

団体名	役職	氏名	備考
府中市体育協会	専務理事	大谷 久知	部会長
府中市スポーツ推進委員会	会長	瀬戸口 幸則	
むさし府中商工会議所	専務理事	並木 茂勝	
府中市商店街連合会	会計	川口 宣男	
むさし府中青年会議所	副専務理事	尾崎 由一郎	
まちづくり府中	事務局長	岩田 利治	
府中観光協会	事務局次長	遠藤 隆行	副部会長
日本中央競馬会東京競馬場	総務課長補佐	三橋 亮一	
府中文化振興財団	総務課長	伊藤 隆之	
府中市文化芸術協会	会長	菅野 義雄	
府中市自治会連合会	市民協働対策副部長	山上 稔	
府中国際友好交流会	副理事長	吉永 茂興	
府中国際交流サロン	生活情報支援部会副部会長	橋田 寛	
府中市社会福祉協議会	総務課長	見ル野 一太	
府中市小学校校長会	副会長	村岡 由季夫	
府中市中学校校長会	副会長	谷合 しのぶ	
府中市立小中学校PTA連合会	会長	田中 敬輔	
東京外国語大学	社会連携主幹	木村 晴茂	
東京農工大学	学務部学生総合支援課長	駒野 亮	

専門部会での検討内容について

視点1・2・3の枠組みについて

2017年

2018年

2019年

2020年

2020年
以降

平昌
2018

RWC
2019

聖火
リレー Tokyo
2020

視点1 大会気運の醸成
視点2 キャンプ実施国・ホストタウンへの理解促進

視点3 来訪者への歓迎の催し

おもてなし体制の構築

レガシーの創出

視点1と2の取組について

【基本方針】

当初、視点1と2の取組を分けて実施する想定であったが、より効果的な取組とするため、オリパラ等への関心の低い層をターゲットに、視点1と2の取組をミックスした形、また、市内イベントとのコラボレーションという形で複数回行う。

【内容】

コラボレーションするイベント（内容・会場）にあわせてオリパラ等に因んだ内容を行う。

- 例 スポーツ体験パターン（徒競走、ボッチャ、車いすバスケットボール、まちなかラグビーなど）
- 例 トークショーパターン（オリンピック・パラリンピアン、スポーツにゆかりのある芸能人などのトークショー）
- 例 音楽・ダンスパターン（五輪音頭、各国舞踊・音楽などの披露）
- 例 各国飲食物パターン（ホストタウン、キャンプ実施国、過去のオリパラ開催国に因んだ飲食物提供）

【コラボレーションするイベント】

けやき並木、フォーリス前、ル・シーニュ前、府中公園など、中心市街地で例年開催しているイベント

視点3の取組について

【ア 歓迎を表す市内美化・装飾】

内容 街頭及び市内施設の美化活動・装飾
会場 競技会場周辺、市内施設周辺 ほか

【イ 選手団等への歓迎の催し】

内容 歓迎セレモニー等での日本文化披露及び日本文化体験
会場 東京競馬場、郷土の森博物館、大國魂神社 ほか

【ウ 聖火リレー及び市内実施競技に係る催し】

内容 聖火リレー及び自転車ロードレース応援イベント
会場 聖火リレーコース及び自転車ロードレース競走路の周辺

【エ 観戦者への歓迎の催し】

内容 競技会場から市内への観光ツアー（バス・シェアサイクル）
会場 東京競馬場、郷土の森博物館、大國魂神社

取組の実施にあたっては、視点1・2・3ともに、推進会議構成団体がそれぞれ持つ強みや特色を活かしつつコラボレーションし、市内の資源（団体、イベント、施設など）を最大限に活かす。

専門部会での検討内容について

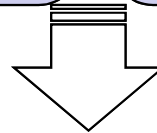
取組の実現に向けて

オリパラ推進会議

オリンピック等に関連した取組を推進するにあたっての団体間の情報共有及び連絡調整の場

オリパラ専門部会

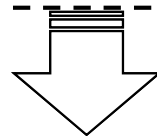
オリンピック等に向けて市全体で実施する取組を検討する場



専門部会で検討した取組案を具体化、また実行する組織・体制が必要

実行組織・体制に期待される条件：

- ・ オリンピック等を契機とした地域活性化、またオリンピック等に向けた取組に主体的に取り組むこと。
- ・ 取組実現にあたり、市内団体間で、またイベント主催者側と具体的な調整ができること。
- ・ 取組実現にあたり、人・物・場所などの手配・調整ができること



推進会議を基礎とした「実行委員会」設置の検討

今後のスケジュール

来年1月に開催するオリパラ推進本部（市役所内部）にて、推進会議（専門部会）での検討内容について報告。併せて、取組の実行組織・体制についても審議し、その結果をもとに、春頃を目途に推進会議構成団体に連絡。



キャンプ地誘致について

キャンプ地誘致について

ラグビーワールドカップ2019試合日程の発表

11月2日、ラグビーワールドカップの全試合日程が発表され、東京スタジアムでは次のとおり、全8試合が開催されることになりました。

日程	キックオフ	試合
9月20日(金)	19:45	日本 対 ヨーロッパ地区代表
9月21日(土)	16:15	フランス 対 アルゼンチン
9月29日(日)	16:45	オーストラリア 対 ウェールズ
10月5日(土)	17:00	イングランド 対 アルゼンチン
10月6日(日)	13:45	ニュージーランド 対 アフリカ地区代表
10月19日(土)	19:15	準々決勝2: プールB 1位 対 プールA 2位
10月20日(日)	19:15	準々決勝4: プールA 1位 対 プールB 2位
11月1日(金)	18:00	3位決定戦

キャンプ地誘致について

ラグビーイングランド代表が市内施設を視察

市では、ラグビーワールドカップ2019公認チームキャンプ地に応募していますが、その選定プロセスの一環として、12月4日に、エディー・ジョーンズヘッドコーチをはじめとするラグビーイングランド代表チームが市内施設（ ）を視察に訪れました。

各チームからの視察は来年3月頃まで続く予定です。

なお、公認チームキャンプ地の決定は、各チームの意向に基づき、組織委員会が来年春頃から決定していくとしています。

詳細な視察場所については、組織委員会が定めるルールに基づき非公表



の府中

キャンプ地誘致について

野球オーストラリア代表チーム関係者が市内を視察

市では、オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地を誘致していますが、その一環として、11月28日～30日にかけて、ベースボール・オーストラリアのグレン・ウィリアムズ氏が市内施設を視察に訪れました。引き続き、野球オーストラリア代表チームの事前キャンプ実施に向けて協議を継続していきます。





ホストタウンについて

ホストタウンについて

オーストリアのホストタウンに登録

ホストタウン第五次登録（12月11日発表）において、府中市はオーストリアのホストタウンに登録されました。

市では、平成4年にオーストリア・ウィーン市ヘルナルス区と友好都市提携を結んで以来、25年にわたって青少年の相互派遣などを通じた交流を行ってきました。今年は友好都市提携25周年を迎えるに当たり、10月に市議会と吉野副市長が同区を訪問して記念式典を執り行い、相互の友好関係をより一層深めていくことを確認しました。

今後は、これまでの交流に加えて、ホストタウン事業として、卓球オーストリア代表チームの事前キャンプ受入、オーストリアのオリンピック・パラリンピアンへの応援や歓迎セレモニー、学校給食でのオーストリア料理の提供などを行っていきます。





その他情報提供

東京五輪音頭-2020-について

組織委員会は、東京2020大会に向けた気運醸成のため、1964年に流行した「東京五輪音頭」をリメイクし、「東京五輪音頭-2020-」を制作しました。このミュージックビデオ及び振付け解説動画がインターネット上で配信されているほか、CDについては市役所政策課で市内団体向けに貸出しを行っていますので、地域の盆踊りやお祭り、イベント等に向けて、ぜひご活用ください。

【東京五輪音頭-2020-の特徴】

- ・曲調・歌詞を、東京2020大会に向けてアレンジするとともに、パラリンピックの要素を加え、すべての人がスポーツを楽しむことができる世界を表現しています。
- ・老若男女、車いすの方も楽しく踊ることができるよう、新たに振付けた“ダイバーシティ音頭”です。
- ・3人のアーティスト（石川さゆり、加山雄三、竹原ピストル）によって歌い上げられています。
- ・全校のお祭り、盆踊り等で使用可能です。



武蔵野の森総合スポーツプラザがオープン

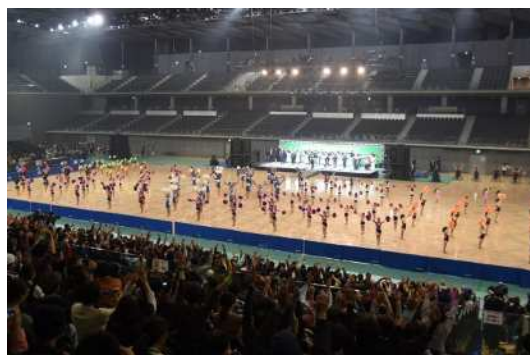
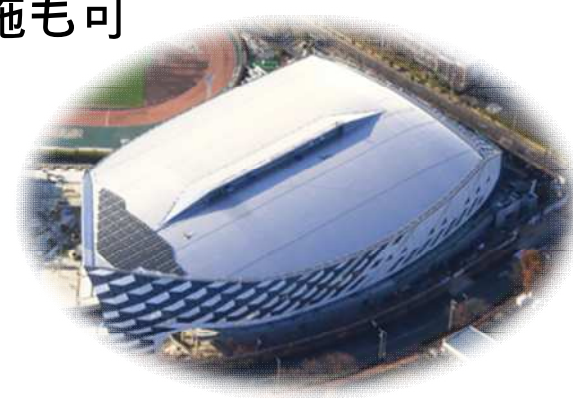
11月25日、東京スタジアムの隣に、武蔵野の森総合スポーツプラザがオープンしました。この施設は、東京都が多摩地域の新たなスポーツ施設として整備したもので、東京2020大会の競技会場としても使用予定です。

【施設概要】

メインアリーナ：競技フロア 約4,900m² 最大収容人員10,000人以上
 サブアリーナ：競技フロア 約1,800m² 可動畳で武道の実施も可
 屋内プール：50m×20m 8コース
 その他：トレーニングルーム、多目的スペース など

【東京2020大会での実施競技】

オリンピック：バドミントン、近代五種（フェンシング）
 パラリンピック：車いすバスケットボール



その他情報提供

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた1000日前イベント 「カウントダウン to 2020 in 府中」を開催

オリンピック・パラリンピックの開催まで1000日となる節目に、次のとおり1000日前イベントを開催しました。

東京2020オリンピックの開会式は2020年7月24日に、パラリンピックの開会式は8月9日に開催されます。

【第1弾：フェンシング】

日程：平成29年10月28日（土）

会場：市民活動センタープラッツ

内容：フェンシング競技オリンピック・三宅 諒さんによるトークショー、
フェンシング体験会、府中市美術館アートスタジオ



【第2弾：バドミントン・車いすバスケットボール】

日程：平成29年11月18日（土）

会場：郷土の森総合体育館

内容：バドミントン競技オリンピック・小椋久美子さん、
車いすバスケットボール競技パラリンピアン・三宅
克己さんによるトークショー及び各競技体験会、
ボッチャ体験会



その他情報提供

東京2020大会マスコットの候補発表及び小学生による投票について

12月7日、東京2020大会のマスコット最終候補3案が発表されました。これに伴い、12月11日から平成30年2月22日まで、全国の小学生による投票（1クラス1票）で選考が行われます。府中市も、この取組を応援するために「マスコット投票宣言」を行い、公立小学校全校で投票を実施していきます。なお、結果発表は、2月28日に行われる予定です。

【大会マスコット】

マスコットはオリンピック・パラリンピックのビジョンやバリューに加え、開催国の文化や魅力を紹介する存在として重要な役割を果たします。

夏季大会 (過去大会のマスコット) 冬季大会



その他情報提供

【最終候補】



府中ダービーマッチの開催及び市民招待について

12月24日、味の素スタジアムを会場として、府中市を本拠地とするサントリーサンゴリアスと東芝ブレイブルーパスがジャパンラグビートップリーグで対戦する「府中市長杯争奪 府中ダービーマッチ」が開催されます。

今回も、両チームのご協力により市民1000名を招待いただくほか、東京都による都内在学小・中学生、高校生3000名招待企画も実施されます。

【市民招待の概要】

試合時間：午後1時キックオフ

対象：府中市民、市内在勤・在学者

定員：先着1000名

受付時間：午前10時40分～ハーフタイム終了後

受付方法：対象者であることを証明できるものを持って、味の素スタジアムメインゲート付近の「府中市民招待ブース」へ

